

モーモー公園をみんなで考える

モーモー公園(伏古一〇一三)も、今年中の整備が予定されています。公園のある共栄東町内会の方と協力して、公園の整備について考える会議を開催しています。地域の方のほかに、付近にある児童会館や幼稚園の職員も参加しています。

会議を開催する前に、児童会館や幼稚園などを訪問し、子どもや保護者に公園を利用して普段感じていることを聞きました。公園の図面上にシールを張って好きな所と嫌いな所を教えてもらい、意見をまとめたのです。

出された意見を参考にした案を作った会議を開催したところ、さらに



町内会と伏古児童会館が協力して、2月1日から11日まで、モーモー公園内にアイスキャンドルを飾り、冬も公園を楽しく利用しました



3月に行われた会議の様子。参加者は四つのグループに分かれて話し合いました

具体的な意見が出てきました。参加者からは「子どもからお年寄りまで、さまざまな年代の人たちが触れ合える公園にしたい」「誰もが使いやすいバリアフリーの公園づくりを」など、それぞれの視点からさまざまなアイデアが飛び交っています。

共栄東町内会長の西山靖にしやまきよしさんは「この公園は、毎年町内のお祭り会場になっており、ほかの行事にも利用しているのので、みんな親しみを持っています。地域からいろいろな意見を出して、みんなが楽しめる公園にしたいですね」と熱心に話してくれました。

このような取り組みの中から、より良い公園が生まれてくることでしょう。

●公園を楽しく利用する

協働による公園づくりは、再整備の取り組み以外にも行われています。区役所では、以前から地域の町内会に草刈りや清掃などの公園管理をお願いしていますが、最近では、地域の方が自分たちの公園という意識を持って、利用方法などを自主的に考える活動も行われてきています。

苗穂グリーン公園(北八東一九)の在り方を考えるために、苗穂地区の方が「苗穂グリーン公園 はぐくむ会」を結成しました。以前この公園では、いたずらで施設が壊されたり、汚れが目立ったりしていたそうです。そこで、地域みんなが楽しく使える公園にしようと、東区と協力して、まず市民花壇作りや清掃、落書き消しなどを始めました。活動を続ける

苗穂グリーン公園では、2年前から「市民花壇」を作り、苗植えや草刈りから水やりまでをすべて地域の方が行っています



うちに公園でのいたずらも減り、公園でゆつくりと過ごす人の姿も多く見られるようになったそうです。

「はぐくむ会」会長の竹本功たけもとこうさんは「これからも活動を続けてきれいな公園にしていきたい。近所の人々が暮らしの一部として感じられるような、安心して集える場所になればいいですね」と話しています。同地区では、希望、雁来、苗穂の三つの公園でも同様に市民花壇作りが行われるなど、公園を中心としたまちづくりが広がっています。

さらに、ほかの地区でも公園を地域で活用しようと、住民による自主的な団体ができてきています。また、東区まちづくり市民会議から生まれた「ひがしく☆こうえん☆ねっとわーく」も、公園が地域のコミュニティ活動の場として活用されることを目指し、公園づくりに取り組む地域の方と一緒に活動を続けています。



まちづくりの活動といっても、地域での防災や環境、福祉などさまざまな分野があります。皆さんも興味があることから始めてみませんか。そんな第一歩から交流と参加が盛んな協働によるまちづくりが始まります。